

宮崎日日新聞「くらしの相談」（令和7年1月30日）掲載

○ 通学路の側溝に蓋がなくて危ない

【問】

通学路の側溝に途中蓋がない所が複数箇所あり、こどもが転落しそうで危険なので、対策を採ってほしい。

【回答】

相談を受けた市町村在住の行政相談委員が、現地を確認したところ、数百mの区間の側溝に蓋が設置されていない箇所があり、一部に転落防止用のポールは設置されていましたが、危険を防止するには不十分な状態だと感じました。

相談内容を担当課に伝えたところ、通学路については、危険な箇所がないか定期的に確認をしているが、この場所が今まで危険だとの認識はなかったとのことでした。

このため、改めてポールが十分確保されていないのではないかと伝えたところ、担当課では、ポールを増やすことにより転落を防ぐ対応する方向で検討されていましたが、その後、保護者からの声もあって、この区間の側溝を全面的に見直すこととなり、蓋や柵などを新設して転落防止措置の徹底が図られました。